

長崎市観光統計について（推計方法の変更について）

令和6年長崎市観光統計から、より精度の高い統計とするため、令和5年度から導入した宿泊税の申告データに係る実績や、新たな人流データサービス等を活用し、訪問客数等の推計方法を変更している。

・訪問客数
長崎市は、国内観光のみならず、インバウンドやMICE、スポーツ、文化など多様な目的を持つ訪問客から選ばれるまちを目指していることから、令和4年観光統計から従来の「観光客数」の表記を「訪問客数」へ変更している。

旧方式	長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。 長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの訪問客割合を考慮して推計している。
新方式 （令和6年分～）	位置情報ビッグデータによる人流データと宿泊税申告データに係る延べ宿泊数実績を基に推計している。 日本人訪問客数は人流データサービス「おでかけウォッチャー」の数値と宿泊実績を基に推計し、外国人訪問客数は人流データサービス「モバイル空間統計」の数値を基に推計している。

・宿泊客数・日帰り客数

旧方式	宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の訪問客数から宿泊客数を減じて算出している。
新方式 （令和6年分～）	総宿泊客数は宿泊税申告データに係る延べ宿泊客数実績及び市内主要宿泊施設における平均泊数を基に推計している。 日帰り客数は、前段で算出した宿泊客数及び「おでかけウォッチャー」、「モバイル空間統計」より抽出したデータにより推計している。

・個人客数・団体客数（一般・学生）

旧方式	団体客数（一般・学生）は市内主要観光施設における団体客数（一般・学生）の前年比伸び率を基に推計しており、個人客数については全体の観光客数から団体客数を減じて算出している。
新方式 （令和6年分～）	団体客数(学生)は、前年の団体客数（学生）に市内主要観光施設における団体客数(学生)の前年伸び率を乗じることで推計しており、団体客数（一般）は、訪問客数に長崎市日本人観光客動向調査の旅行形態内の団体旅行の割合を乗じて推計している。また、個人客数については全体の訪問客数から団体客数を減じて算出している。

令和7年長崎市観光統計

【確報版】

長崎市

・日本人延べ宿泊客数

旧方式	公表なし
新方式 (令和6年分～)	宿泊税申告データに係る延べ宿泊客数実績を基に推計している。

・外国人延べ宿泊客数(国・地域別)

旧方式	市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。
新方式 (令和6年分～)	人流データサービス「モバイル空間統計」により国外における宿泊客数を抽出している。国・地域別については市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計(MICE件数・MICE参加人員)

旧方式	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。
新方式 (令和6年分～)	変更なし

・観光消費額・経済波及効果

旧方式	一般訪問客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の訪問客数に乗じて算出している。 学生訪問客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。
新方式 (令和6年分～)	観光消費額は日本人訪問客と外国人訪問客の消費額を足して算出している。 日本人一般訪問客の観光消費額は、日本人観光客動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を、宿泊・日帰り別／一般・学生別の訪問客数に乗じて算出している。学生訪問客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。 外国人訪問客の観光消費額は、訪日外国人観光動向調査及びクルーズ船調査により算出した宿泊・日帰り別の1人当たり観光消費単価を、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。

人流データサービスについて

(1)おでかけウォッチャー

スマートフォンのGPS位置情報に基づく、観光客分析に特化した人流データ・モニタリングツール。140種類以上のスマートフォンアプリを通じて、利用者から明示的な同意を得て取得したGPS位置情報・属性情報(性・年代別など)を取得できる。

長崎市外を発地として長崎市を訪れ、かつ位置情報ログ(5～15分間隔で取得)が勤務地域ではない人数をカウントしている。

(2)モバイル空間統計

携帯電話ネットワークの仕組みを使用して作成される人口の統計情報サービス。エリア内に滞在する訪日外国人の人数を、国・地域別に推計することが可能である。

- ・旅行客数：2時間以上滞在した人数
- ・宿泊客数：2-4時台(夜間時間帯)に2時間以上滞在した人数
- ・日帰り客数：旅行客数から宿泊客数を引いた人数

目 次

1	令和7年の観光動向	1
2	観光統計総括表	6
3	訪問客数・観光消費額の推移	8
4	月別訪問客数	10
5	宿泊客・日帰り客の推移	11
6	個人客・団体客の推移	12
7	クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数	13
8	外国人延べ宿泊客数の推移	15
9	国・地域別外国人延べ宿泊客数	16
10	MICE統計	18
11	経済波及効果	22
ー 参考資料 ー		
1	訪問客数の推移	24
2	主要観光施設の入場者数	25
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	25
4	宿泊施設の状況	26

1 令和7年の観光動向

(1) 全国の観光動向

日本人国内旅行消費額			
26兆7,845億円	前年比6.5%増	(1兆6,309億円増)	
① 宿泊旅行	21兆7,211億円	前年比6.8%増	(1兆3,886億円増)
② 日帰り旅行	5兆0,634億円	前年比5.0%増	(2,423億円増)
日本人国内延べ旅行者数			
5億5,313万人	前年比2.4%増	(1,318万人増)	
① 宿泊旅行	2億9,997万人	前年比2.3%増	(683万人増)
② 日帰り旅行	2億5,316万人	前年比2.6%増	(635万人増)
日本人国内旅行1人あたり旅行単価			
48,424円	前年比3.9%増	(1,839円増)	
① 宿泊旅行	72,412円	前年比4.4%増	(3,050円増)
② 日帰り旅行	20,000円	前年比2.4%増	(467円増)

日本人の国内旅行消費額は、前年比6.5%増(1兆6,309億円増)の26兆7,845億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比2.3%増(683万人増)の2億9,997万人、日帰り旅行が前年比2.6%増(635万人増)の2億5,316万人で、全体として前年比2.4%増(1,318万人増)の5億5,313万人となり、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は前年比3.9%増(1,839円増)の48,424円となった。

(出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」2025年年間値(確報)

訪日外客数	
4,268万3,600人	前年比15.8%増(約581万人増)

令和7年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年比15.8%増(約581万人増)の4,268万3,600人と、過去最高であった令和6年を580万人以上上回り、年間過去最高を更新した。豪州が初めて累計100万人を突破し、中国、韓国、台湾、米国、香港、タイに次ぎ7市場目となる年間で100万人を超えた市場となった。なお、20市場が年間累計で過去最高を記録した。

(出典)日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数(2025年12月推計値)」

外国人延べ宿泊者数	
1億7,787万人泊	前年比8.2%増(約1,341万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年比8.2%増(約1,341万人泊増)の1億7,787万人となった。また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国(約3,040万人泊、シェア19.8%)、第2位以下は台湾(約1,969万人泊、シェア12.8%)、韓国(約1,748万人泊、シェア11.4%)、アメリカ(約1,729万人泊、シェア11.3%)、香港(約651万人泊、シェア4.2%)と続き、上位5か国・地域で全体の約59.5%を占める。※国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で1億5,352万8,850人泊となっている。

(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査(2025年・年間値(速報値))」

訪日外国人旅行消費額	
9兆4,549億円	前年比16.4%増(1兆3,292億円増)
訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出	
22万8,782円	前年比0.9%増(1,931円増)

訪日外国人の旅行消費額は前年比16.4%増(1兆3,292億円増)の9兆4,549億円と増加し、1人当たりの旅行支出は前年比0.9%増(1,931円増)の22万8,782円と増加した。

国籍・地域別の旅行消費額では、中国が最も高く(2兆58億円、シェア21.2%)、次いで台湾(1兆2,033億円、シェア12.7%)、アメリカ(1兆1,186億円、シェア11.8%)、韓国(9,906億円、シェア10.5%)、香港(5,614億円、シェア5.9%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の62.2%※を占める。

1人当たり旅行支出は、ドイツが最も高く(39万2千円)、次いでイギリス(39万1千円)、オーストラリア(38万7千円)の順で高い。

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、5か国・地域の合計値と一致しない。

(出典)観光庁「インバウンド消費動向調査 2025年暦年の調査結果(確報)の概要」

(2) 長崎市の観光動向

訪問客数

690万2,993人	前年比 5.5%増	(36万2,568人増)
① 宿泊客数	250万1,437人	前年比 7.0%増 (16万3,513人増)
日帰り客数	440万1,556人	前年比 4.7%増 (19万9,055人増)
② 個人客数	629万6,093人	前年比 5.7%増 (34万1,468人増)
団体客数	60万6,900人	前年比 3.6%増 (2万1,100人増)
一般団体客数	35万8,800人	前年比9.7%増 (3万1,800人増)
学生団体客数(修学旅行生)	24万8,100人	前年比 4.1%減 (1万700人減)

日本人・外国人別／宿泊・日帰り別 訪問客数

日本人	宿泊	223万7,544人	前年比 6.1%増	(12万8,934人増)
	日帰り	377万7,241人	前年比 4.3%増	(15万4,502人増)
	日本人計	601万4,785人	前年比 4.9%増	(28万3,436人増)
外国人	宿泊	26万3,893人	前年比 15.1%増	(3万4,579人増)
	日帰り	62万4,315人	前年比 7.7%増	(4万4,553人増)
	外国人計	88万8,208人	前年比 9.8%増	(7万9,132人増)

日本人・外国人別 延べ宿泊客数

日本人	268万5,054人泊	前年比 4.4%増	(11万2,549人泊増)
外国人	46万4,452人泊	前年比 27.4%増	(9万9,843人泊増)

クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数

入港数	198隻	前年比 23.8%増	(38隻増)
乗客・乗務員数	51万9,852人	前年比 10.1%増	(4万7,732人増)
国内クルーズ客船	入港数	1隻	前年比 66.7%減 (2隻減)
	乗客・乗務員数	1,001人	前年比 55.6%減 (1,253人減)
国際クルーズ客船	入港数	197隻	前年比 25.5%増 (40隻増)
	乗客・乗務員数	51万8,851人	前年比 10.4%増 (4万8,985人増)

観光消費額

日本人	1,833億2,363万円	前年比 7.6%増	(約129億円増)
外国人	457億2020万円	前年比 7.2%増	(約31億円増)
計	2,290億4,382万円	前年比 7.5%増	(約160億円増)

経済波及効果(長崎県内)

3,440億円	前年比 8.3%増	(約265億円増)
---------	-----------	-----------

訪問客1人あたり市内観光消費額

平均	33,180円	前年比 1.8%増	(600円増)
宿泊客	52,150円	前年比 0.4%減	(206円減)
日帰り客	22,400円	前年比 3.8%増	(822円増)
日本人平均	30,479円	前年比 2.5%増	(741円増)
外国人平均	51,475円	前年比 2.3%減	(1,236円減)

※ 四捨五入の関係により、観光消費額の内訳と合計は一致しない。

令和7年の長崎市の訪問客数は690万2,993人となった。
 このうち日帰り客数は440万1,556人、宿泊客数は250万1,437人となった。
 また、旅行形態別にみると、個人客数が629万6,093人、団体客数が60万6,900人となった。
 日本人・外国人別にみると、日本人客数が601万4,785人、外国人客数が88万8,208人となった。
 延べ宿泊客数は日本人が268万5,054人泊、外国人が46万4,452人泊となった。
 令和7年の観光消費額は、2,290億4,382万円となった。また、長崎県内への経済波及効果については、3,440億円となった。
 以上の観光動向に影響を与えよう要因を以下のとおり分析した。ただし、推計方法の変更により令和5年までとの単純比較ができないことには留意が必要である。

【主な要因】

- インバウンドの拡大**
 全国的なインバウンド活況を背景に、長崎市でも外国人訪問客数が前年比+9.8%となり、特に延べ宿泊客数は前年比+27.4%と大幅に増加した。国際クルーズ客船入港数は197隻（前年比+25.5%）となり、外国人日帰り客数（前年比+7.7%）の増加に寄与した。
- 長崎スタジアムシティ本格稼働によるスポーツコンベンションの拡大**
 令和6年10月に開業した長崎スタジアムシティを活用したスポーツ大会・コンサート・コンベンションが本格的に稼働したことで、MICEが大幅に増加した。令和7年のMICE開催件数は1,980件（前年比+24.1%）、参加人員は186万4,324人（前年比+26.2%）となり、特にスポーツコンベンションは件数+70.6%、参加人員は+112.5%と飛躍的に拡大した。
- ポケモンGO大規模リアルイベントの開催**
 令和7年11月7日～9日まで、スマホゲームのリアルイベント「ポケモンGO ワイルドエリア：長崎」が開催され、主催者発表では約42万人がゲームに参加したとされている。11月の訪問客数が前年比+9.8%となっている背景の一つと考えられる。
- ながさきピース文化祭2025の開催および被爆80周年**
 9月14日から11月30日までの78日間、「第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭（通称ながさきピース文化祭2025）」が長崎県内全域で開催された。また、令和7年は原爆投下から80周年という節目の年にあたり、原爆資料館の入館者数は前年比+10.9%を記録している。

2 観光統計総括表

【単位：人、人泊、%】

		令和6年	令和7年		
				構成比	前年比増減
訪問客数		6,540,425	6,902,993	100.0	5.5
宿泊の有無別	宿泊客数	2,337,924	2,501,437	36.2	7.0
	日帰り客数	4,202,501	4,401,556	63.8	4.7
旅行形態別	個人客数	5,954,625	6,296,093	91.2	5.7
	団体客数	585,800	606,900	8.8	3.6
	一般	327,000	358,800	5.2	9.7
	学生	258,800	248,100	3.6	▲4.1
日本人・外国人別訪問客数	日本人客数	5,731,349	6,014,785	87.1	4.9
	宿泊客数	2,108,610	2,237,544	32.4	6.1
	日帰り客数	3,622,739	3,777,241	54.7	4.3
	外国人客数	809,076	888,208	12.9	9.8
	宿泊客数	229,314	263,893	3.8	15.1
	日帰り客数	579,762	624,315	9.0	7.7
延べ宿泊客数	計	2,937,114	3,149,506	100.0	7.2
	日本人	2,572,505	2,685,054	85.3	4.4
	外国人	364,609	464,452	14.7	27.4

【単位：億円、％】

		令和 6 年	令和 7 年		
				構成比	前年比増減
観光消費額	計	2, 131	2, 290	100. 0	7. 5
	日本人	1, 704	1, 833	80. 0	7. 6
	外国人	426	457	20. 0	7. 2
経済波及効果		3, 175	3, 440		8. 3

※ 四捨五入の関係により、観光消費額の内訳と合計は一致しない。また、前年比増減は四捨五入する前の数字から算出している。

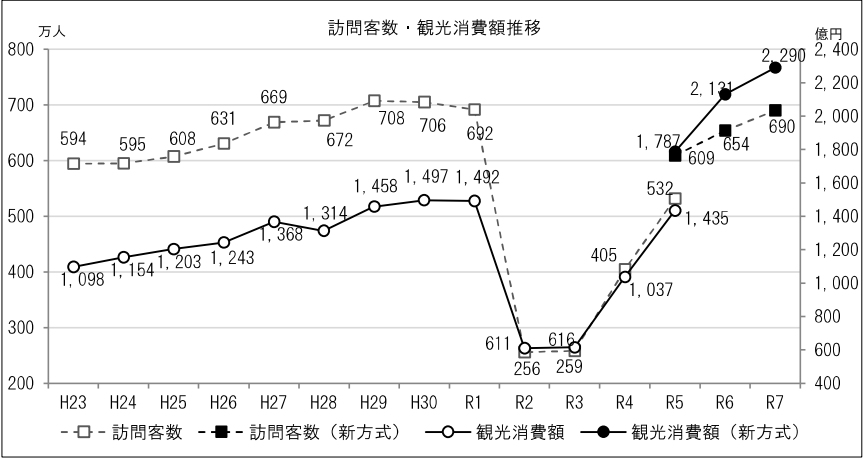
3 訪問客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	訪問客数			観光消費額		
		前年比増減			前年比増減	
平成23年	5, 944, 700	▲163, 600	▲ 2. 7	109, 766, 697	▲ 1, 114, 238	▲ 1. 0
平成24年	5, 952, 900	8, 200	0. 1	115, 446, 919	5, 680, 222	5. 2
平成25年	6, 078, 000	125, 100	2. 1	120, 320, 106	4, 873, 187	4. 2
平成26年	6, 306, 800	228, 800	3. 8	124, 323, 000	4, 002, 894	3. 3
平成27年	6, 693, 800	387, 000	6. 1	136, 834, 458	12, 511, 458	10. 1
平成28年	6, 723, 500	29, 700	0. 4	131, 378, 500	▲5, 455, 958	▲ 4. 0
平成29年	7, 077, 700	354, 200	5. 3	145, 846, 150	14, 467, 650	11. 0
平成30年	7, 055, 400	▲ 22, 300	▲ 0. 3	149, 689, 454	3, 843, 304	2. 6
令和元年	6, 917, 800	▲137, 600	▲ 2. 0	149, 189, 702	▲ 499, 752	▲ 0. 3
令和 2 年	2, 560, 600	▲4, 357, 200	▲63. 0	61, 066, 048	▲88, 123, 654	▲59. 1
令和 3 年	2, 585, 700	25, 100	1. 0	61, 551, 969	485, 921	0. 8
令和 4 年	4, 048, 800	1, 463, 100	56. 6	103, 741, 749	42, 189, 780	68. 5
令和 5 年	5, 319, 400	1, 270, 600	31. 4	143, 462, 747	39, 720, 998	38. 3
令和 5 年 (新方式)	6, 091, 907	—	—	178, 689, 631	—	—
令和 6 年 (新方式)	6, 540, 425	448, 518	7. 4	213, 084, 226	34, 394, 595	19. 2
令和 7 年 (新方式)	6, 902, 993	362, 568	5. 5	229, 043, 822	15, 959, 596	7. 5

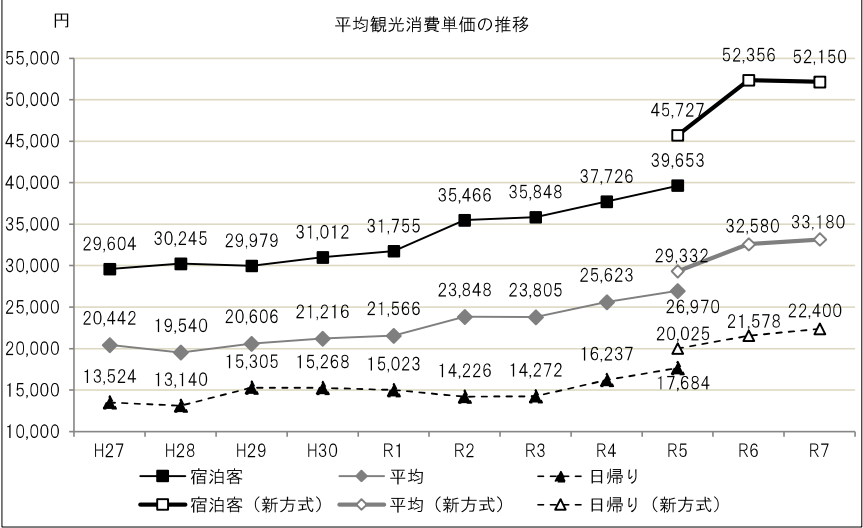
※ 令和 6 年の前年比増減は、令和 5 年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図1 訪問客数・観光消費額の推移



※ 参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

図2 平均観光消費単価の推移



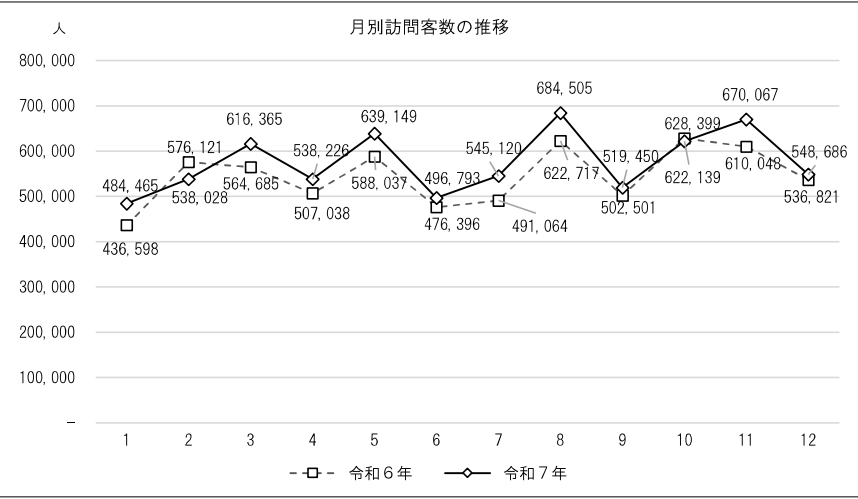
※ 参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

4 月別訪問客数

【単位：人、％】

月	令和5年 (旧方式)	令和5年 (新方式)	令和6年 (新方式)	令和7年 (新方式)	構成比	前年比増減
1月	263,400	425,488	436,598	484,465	7.0	11.0
2月	319,700	460,281	576,121	538,028	7.8	▲6.6
3月	584,000	535,887	564,685	616,365	8.9	9.2
4月	434,500	486,056	507,038	538,226	7.8	6.2
5月	456,300	601,398	588,037	639,149	9.3	8.7
6月	316,400	453,427	476,396	496,793	7.2	4.3
7月	437,100	475,322	491,064	545,120	7.9	11.0
8月	474,900	559,264	622,717	684,505	9.9	9.9
9月	481,500	500,029	502,501	519,450	7.5	3.4
10月	573,600	549,428	628,399	622,139	9.0	▲1.0
11月	606,900	582,533	610,048	670,067	9.7	9.8
12月	371,100	462,794	536,821	548,686	7.9	2.2
計	5,319,400	6,091,907	6,540,425	6,902,993	100.0	5.5

図3 月別訪問客数の推移



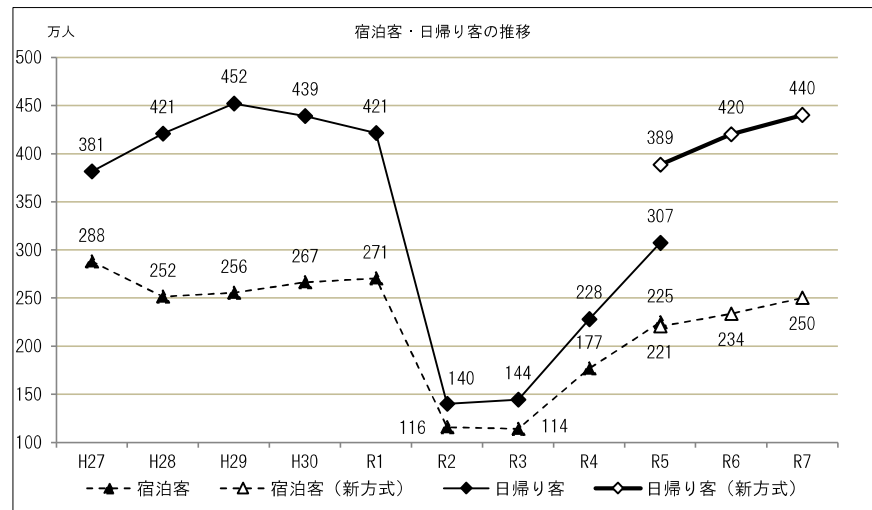
5 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	構成比	前年比増減	人数	構成比	前年比増減
平成27年	2,879,800	43.0	5.0	3,814,000	57.0	7.0
平成28年	2,515,700	37.4	▲12.6	4,207,800	62.6	10.3
平成29年	2,556,900	36.1	1.6	4,520,800	63.9	7.4
平成30年	2,665,600	37.8	4.3	4,389,800	62.2	▲2.9
令和元年	2,705,200	39.1	1.5	4,212,600	60.9	▲4.0
令和2年	1,160,000	45.3	▲57.1	1,400,600	54.7	▲66.8
令和3年	1,142,400	44.2	▲1.5	1,443,300	55.8	3.0
令和4年	1,768,400	43.7	54.8	2,280,400	56.3	58.0
令和5年 (旧方式)	2,248,300	42.3	27.1	3,071,100	57.7	34.7
令和5年 (新方式)	2,206,000	36.2	－	3,885,907	63.8	－
令和6年	2,337,924	35.7	6.0	4,202,501	64.3	8.1
令和7年	2,501,437	36.2	7.0	4,401,556	63.8	4.7

※ 令和6年の前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図4 宿泊客・日帰り客の推移



※ 参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

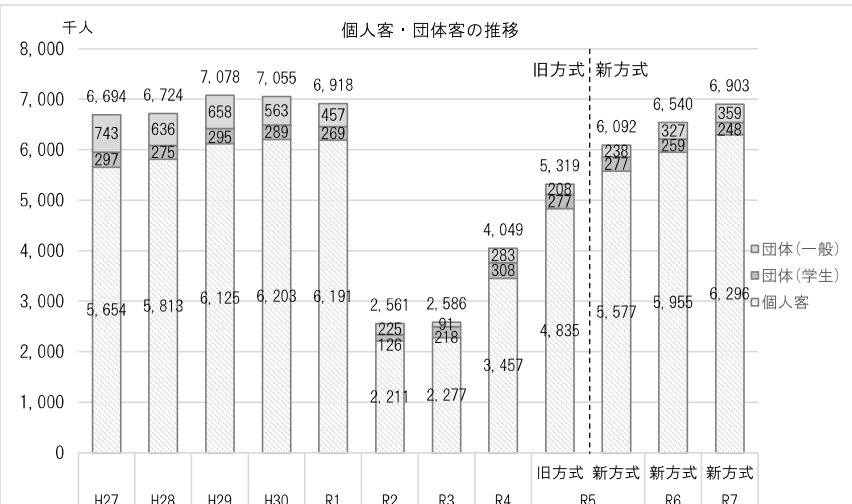
6 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	▲12.4	636,300	▲14.3	274,600	▲7.6
平成29年	6,124,800	5.4	952,900	4.6	658,100	3.4	294,800	7.4
平成30年	6,202,900	1.3	852,500	▲10.5	563,300	▲14.4	289,200	▲1.9
令和元年	6,191,200	▲0.2	726,600	▲14.8	457,200	▲18.8	269,400	▲6.8
令和2年	2,210,500	▲64.3	350,100	▲51.8	224,500	▲50.9	125,600	▲53.4
令和3年	2,277,200	3.0	308,500	▲11.9	90,500	▲59.7	218,000	73.6
令和4年	3,457,000	51.8	591,800	91.8	283,400	213.1	308,400	41.5
令和5年 (旧方式)	4,834,500	39.8	484,900	▲18.1	207,500	▲26.8	277,400	▲10.1
令和5年 (新方式)	5,576,907	－	515,000	－	237,600	－	277,400	－
令和6年	5,954,625	6.8	585,800	13.7	327,000	37.6	258,800	▲6.7
令和7年	6,296,093	5.7	606,900	3.6	358,800	9.7	248,100	▲4.1

※ 令和6年の前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図5 個人客・団体客の推移



※参考値として、令和5年分について新方式で推計した数値をグラフ上にプロットしている。

※百の位で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない。

7 クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和5年		令和6年		令和7年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	96隻	167,086	160隻	472,120	198隻	519,852	10.1

(2) 国内クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

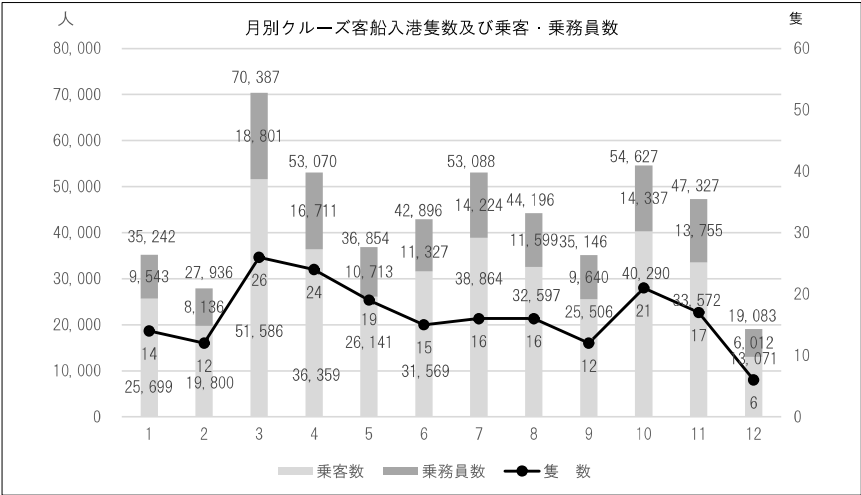
	令和5年		令和6年		令和7年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	1隻	819	3隻	2,254	1隻	1,001	▲55.6

(3) 国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和5年		令和6年		令和7年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	95隻	166,267	157隻	469,866	197隻	518,851	10.4

図6 月別クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数



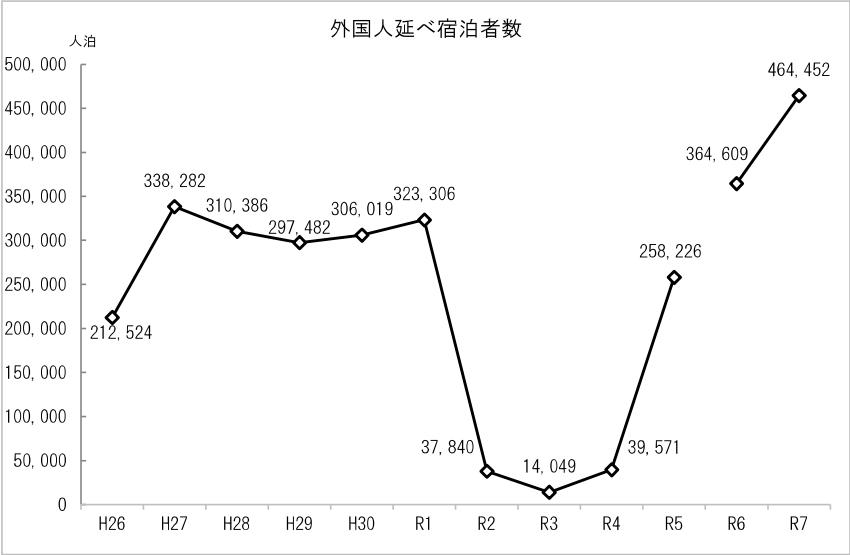
8 外国人延べ宿泊客数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊客数	前年比増減
平成26年	212,524	19.0
平成27年	338,282	59.2
平成28年	310,386	▲8.2
平成29年	297,482	▲4.2
平成30年	306,019	2.9
令和元年	323,306	5.6
令和2年	37,840	▲88.3
令和3年	14,049	▲62.9
令和4年	39,571	181.7
令和5年（旧方式）	258,226	552.6
令和5年（新方式）	258,121	-
令和6年	364,609	41.3
令和7年	464,452	27.4

※ 令和6年の前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図7 外国人延べ宿泊客数の推移



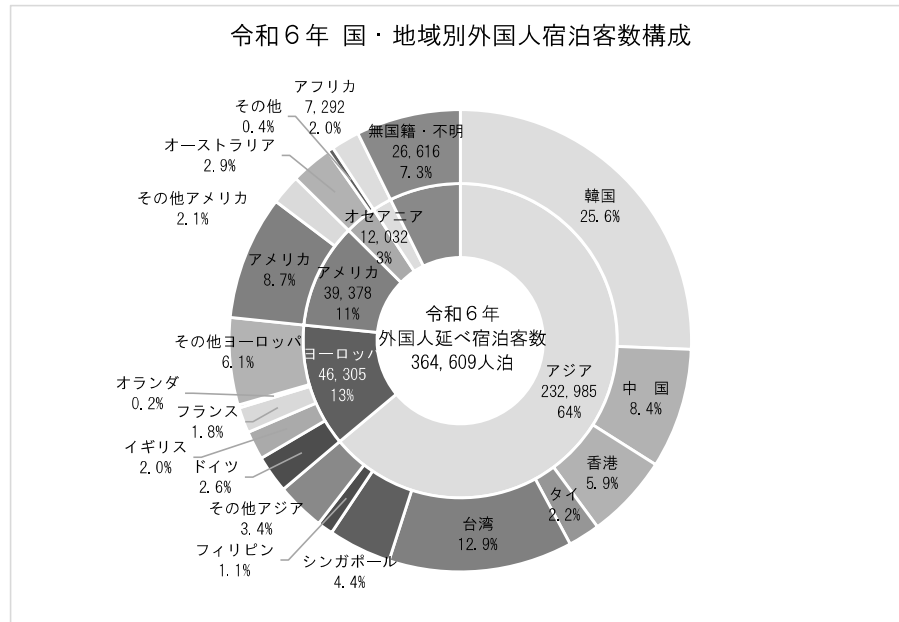
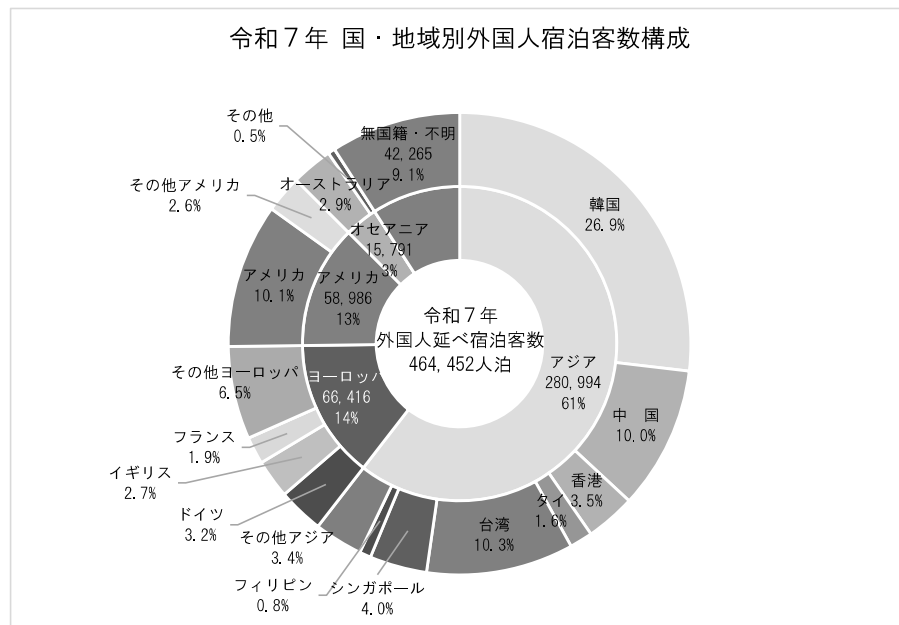
9 国・地域別外国人延べ宿泊客数

【単位：人泊、％】

順位	令和5年 (新方式)		令和6年		令和7年			
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比	前年比増減
1	韓国	77,578	韓国	93,340	韓国	124,938	26.9	33.9
2	台湾	36,502	台湾	47,035	台湾	47,839	10.3	1.7
3	アメリカ	21,409	アメリカ	31,721	アメリカ	46,910	10.1	47.9
4	香港	16,079	中国	30,627	中国	46,445	10.0	51.6
5	中国	14,586	香港	21,512	シンガポール	18,578	4.0	15.8
6	シンガポール	9,740	シンガポール	16,043	香港	16,256	3.5	▲24.4
7	ドイツ	6,728	オーストラリア	10,574	ドイツ	14,862	3.2	56.8
8	タイ	6,560	ドイツ	9,480	オーストラリア	13,469	2.9	27.4
9	オーストラリア	6,550	タイ	8,021	イギリス	12,540	2.7	72.0
10	イギリス	4,649	イギリス	7,292	フランス	8,825	1.9	34.5
11	フランス	4,503	フランス	6,563	カナダ	8,825	1.9	86.2
12	ブラジル	3,404	カナダ	4,740	タイ	7,431	1.6	▲7.4
13	マレーシア	3,285	フィリピン	4,011	マレーシア	5,109	1.1	40.1
14	カナダ	3,037	マレーシア	3,646	インドネシア	4,180	0.9	91.1
15	フィリピン	1,915	インドネシア	2,188	フィリピン	3,716	0.8	▲7.3
-	その他	41,596	その他	67,816	その他	84,529	18.2	24.6
計		258,121		364,609		464,452	100.0	27.4

※ 前年比増減は、令和5年分を新方式で推計した数値との比較を示している。

図8 国・地域別外国人宿泊客数構成



※小数点第2位以下を四捨五入しているため、国・地域の合計が一致しない箇所がある。

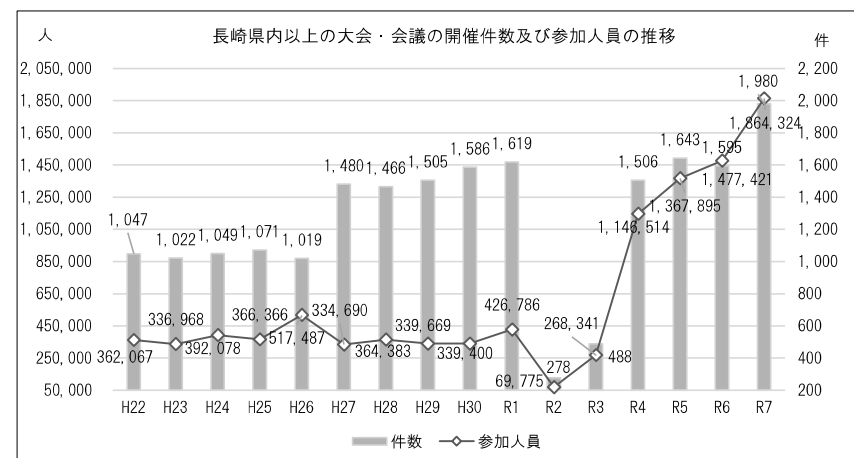
10 MICE統計

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員	
		文化・学術コンベンション等	スポーツコンベンション
平成22年	1,047	—	—
平成23年	1,022	—	—
平成24年	1,049	745	304
平成25年	1,071	768	303
平成26年	1,019	797	222
平成27年	1,480	1,246	234
平成28年	1,466	1,217	249
平成29年	1,505	1,214	291
平成30年	1,586	1,323	263
令和元年	1,619	1,313	306
令和2年	278	214	64
令和3年	488	351	137
令和4年	1,506	1,257	249
令和5年	1,643	1,370	273
令和6年	1,595	1,415	180
令和7年	1,980	1,673	307

図9 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 人数規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減
100人未満	707	863	51.6	22.1	34,960	45,187	3.8	29.3
100人以上～ 300人未満	418	475	28.4	13.6	64,224	71,505	6.1	11.3
300人以上～ 500人未満	91	123	7.4	35.2	31,079	43,879	3.7	41.2
500人以上～ 1,000人未満	79	82	4.9	3.8	51,409	56,653	4.8	10.2
1,000人以上～ 2,000人未満	65	66	3.9	1.5	91,872	90,698	7.7	▲1.3
2,000人以上	55	64	3.8	16.4	881,914	872,148	73.9	▲1.1
計	1,415	1,673	100.0	18.2	1,155,458	1,180,070	100.0	2.1

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減
100人未満	14	31	10.1	121.4	761	1,882	0.3	147.3
100人以上～ 300人未満	58	104	33.9	79.3	10,652	17,823	2.6	67.3
300人以上～ 500人未満	29	49	16.0	69.0	10,358	17,622	2.6	70.1
500人以上～ 1,000人未満	36	39	12.7	8.3	22,238	24,798	3.6	11.5
1,000人以上～ 2,000人未満	8	18	5.9	125.0	9,780	21,927	3.2	124.2
2,000人以上	35	66	21.5	88.6	268,174	600,202	87.7	123.8
計	180	307	100.0	70.6	321,963	684,254	100.0	112.5

(3) 大会規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減
県内大会	1,019	1,265	75.6	24.1	418,551	517,927	43.9	23.7
九州大会	191	171	10.2	▲10.5	220,460	182,795	15.5	▲17.1
西日本大会	12	8	0.5	▲33.3	11,920	5,278	0.4	▲55.7
全国大会	172	203	12.1	18.0	485,342	306,655	26.0	▲36.8
国際大会	21	26	1.6	23.8	19,185	167,415	14.2	772.6
計	1,415	1,673	100.0	18.2	1,155,458	1,180,070	100.0	2.1

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減	令和 6年	令和 7年	構成比	前年比増減
県内大会	121	186	60.6	53.7	66,204	127,674	18.7	92.8
九州大会	25	56	18.2	124.0	63,572	32,868	4.8	▲48.3
西日本大会	10	2	0.7	▲80.0	47,676	590	0.1	▲98.8
全国大会	24	62	20.2	158.3	144,511	523,022	76.4	261.9
国際大会	0	1	0.3	－	0	100	0.0	－
計	180	307	100.0	70.6	321,963	684,254	100.0	112.5

(4) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	令和6年	令和7年	構成比	令和6年	令和7年	構成比
1月	100	141	7.1	44,881	58,038	3.1
2月	122	145	7.3	47,511	180,385	9.7
3月	104	157	7.9	94,230	218,920	11.7
4月	100	130	6.6	59,659	133,273	7.1
5月	120	174	8.8	253,327	204,947	11.0
6月	181	194	9.8	86,387	101,251	5.4
7月	156	191	9.6	91,502	115,233	6.2
8月	115	147	7.4	114,971	158,203	8.5
9月	122	154	7.8	64,285	80,086	4.3
10月	168	216	10.9	225,209	118,846	6.4
11月	163	208	10.5	292,439	416,653	22.3
12月	144	123	6.2	103,020	78,489	4.2
計	1,595	1,980	100.0	1,477,421	1,864,324	100.0

11 経済波及効果

直接効果から間接2次波及効果までを合計した総合効果3,440億円が、「令和7年に長崎市を訪れた訪問客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）2,058億円の約1.67倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

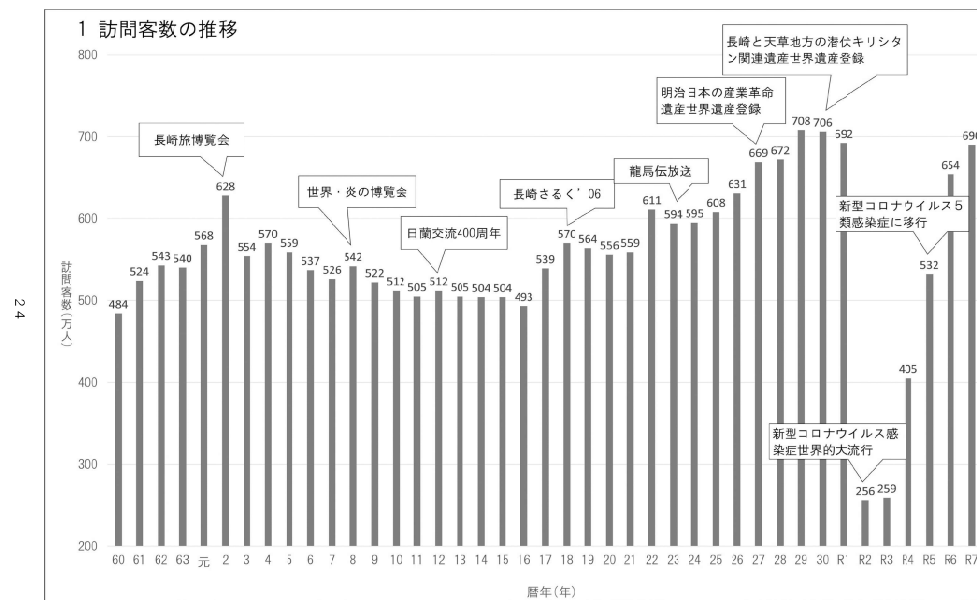
雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で48,781人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食・娯楽サービス(28,648人)」、「宿泊業(7,493人)」、「商業(4,770人)」である。

【単位：億円、人、％】

項目	令和6年	令和7年	前年比増減
総合効果（①+②）	3,175	3,440	8.3
直接効果…①	1,920	2,058	7.2
飲食・娯楽サービス	1,263	1,379	9.2
宿泊業	454	483	6.4
商業ほか	203	196	▲3.4
波及効果…②	1,255	1,382	10.1
間接1次波及効果	822	889	8.2
間接2次波及効果	433	493	13.9
就業誘発効果(就業者誘発数)	37,676	48,781	29.5

※四捨五入の関係により、合計が一致しない箇所がある。

参 考 資 料



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	令和5年	令和6年	令和7年	前年比増減
グラバー園	721,217	776,368	837,096	7.8
出 島	465,663	445,626	519,520	16.6
原爆資料館	741,924	796,232	882,846	10.9
合 計	1,928,804	2,018,226	2,239,462	11.0

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：人、％】

イベント名	令和5年	令和6年	令和7年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	530,000	1,210,000	520,000	▲57.0
長崎帆船まつり	126,457	開催無し	開催無し	－
合 計	656,457	－	－	－

(2) 経済波及効果

【単位：千円、％】

イベント名	令和5年	令和6年	令和7年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	4,349,000	10,384,000	5,324,000	▲48.7
長崎帆船まつり	算出無し	開催無し	開催なし	－
合 計	－	－	－	－

4 宿泊施設の状況

種別による部屋数及び収容人員(令和7年4月1日現在)

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	部屋数	収容人員
旅館・ホテル	155	4,408	12,593
ビジネスホテル	28	2,895	4,859
民宿・ ペンション	17	114	270
国民宿舎・ホステル・ 保養所、その他	23	19	1,030
計	223	7,436	18,752

※ 規模別による部屋数及び収容人員は省略。

※ 令和7年4月1日現在の宿泊施設の実態について調査した結果を集計。



長 崎 市

令和7年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-8685

長崎市魚の町4-1

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：令和8年6月